

鹿児島湾行ったり来たり

会員 福富 廉

鹿児島の南部を中心に出かけ、鹿児島湾（地元で言う錦江湾と言った方が響きがいいが）の横断航路に乗船してきた。鹿児島湾は桜島の存在を除けば、実に東京湾に似ていて、船に乗っても眺めても、楽しかったのでレポートしてみたい。

1. 垂水フェリー

地方の空港に着くと、できれば街へ直行するリムジンバスには乗りたくないなので、今回も路線バスで桜島の東側を回って垂水港まで行き、垂水フェリーで鹿児島に行くことにした。もちろん、私の場合はフェリーに乗ることが一番の目的だが、桜島は鹿児島市側から見ると裏（東斜面）側に噴火口があり間近に噴煙を見ることができるし、色んな角度から違った景色の桜島を見ることができる。特に、南側の垂水港からは山頂がとんがって富士山のように見えるのがいい。

船は日中は50分間隔で40分くらいの航海。垂水側からは船首乗り／船尾降り（両港で回頭）なので得した（逆は損？）と思うのは私くらいだろうか。平日日中なのに人も車もそこそこ乗船していてうれしい。また、適度な航海時間で僚船以外に反航船は無いので、時間の短い桜島フェリーと違って、出港後にゆっくりうどんを食べられるのもいい。



「フェリー第十おおすみ」 垂水港にて



「フェリー第七おおすみ」 垂水港にて



「フェリー第十おおすみ」 垂水港にて



「フェリー第十おおすみ」 鴨池港にて

2. フェリーなんきゅう

指宿から大隅半島を観光するために「フェリーなんきゅう」に往復乗船した。これが目的と言ってもいいくらいなのだが、外海に面して欠航することもしばしばあるので、ちょっと心配だったが、天候には恵まれ、大型バスの乗船や多くのバイク・ライダー等も見られた。また、往きには、目の前を「プリンセスわかさ」と「フェリー屋久島2」が通過した。

噴火口の跡と言われる山川（やまがわ）湾に面した山川港は大きな漁業基地であり、また、フェリー乗り場の傍には海上保安部や山川造船鉄工がある。浮ドックのある后者は、今では修繕のみのようであり、種子島屋久島高速船のジェットフォイルが入港しているのも見られた。

この後、漁業で有名な枕崎港と、かつては遣唐使も利用したという坊津港周辺の港巡りをしたが、この付近には特に旅客船はいない。



「フェリーなんきゅう」 山川港にて



「フェリーなんきゅう」 根占港にて



北上する「プリンセスわかさ」



続航して北上する「フェリー屋久島2」

3. 桜島フェリー

この話は改めてするまでもないが、今回初めて乗った「第二桜島丸」は就航船の中では一番新しく、両方のブリッジの上に出られる上に椅子まで用意されているのはとても良かった。

また、船の中の掲示で、桜島の北東部にある新島（しんじま）に渡る定期旅客船があることを知った。鹿児島市の行政連絡船で、週3日（月水金）だけ1日3便運航されているようである。



鹿児島市行政連絡船「しんじま」鹿児島市 HP より

古い順に写真を並べてみるが、番号が”18“から振出しの”1“に戻るとともに、”桜“の表記が旧字から新字に変わっているのがわかる。



「第十五櫻島丸」(チェリークィーン) 桜島港にて



「第十六櫻島丸」(ドルフィンライナー) 桜島港沖にて



「第十八櫻島丸」(プリンセスマリン) 桜島港沖にて



「櫻島丸」(サクラエンジェル) 桜島港沖にて



「第二櫻島丸」(サクラフェアリー) 桜島港沖にて



「第二櫻島丸」のブリッジ上より

4. シップウォッチング

(1) 鹿児島県庁展望台

垂水フェリーの鴨池港から徒歩で15分程のところ鹿児島県庁があり18階の展望台には無料で誰でもあがることができる。目の前の桜島の展望は私は城山の展望台よりはるかに素晴らしいと思うし、眼下に鴨池港を見られるほか、鹿児島港全体を俯瞰することができるのがうれしい。



鴨池港に入港する「フェリー第七おおすみ」



鹿児島県庁沖を通る「フェリーとしま」(先代) 2013年撮影

(2) 鹿児島港

1976年に発行された「日本の旅客船」の表紙を飾るのは、池田事務局長の、もうもうと噴煙を上げる桜島を背景に入港してくる「第二屋久島丸」である。いつも、あんな写真を撮りたいと思っていたが、今回、ちょうど「プリンセスわかさ」が入港してきて、今は噴煙も少なくあのダイナミックさにはとてもかなわないが、曲りなりに撮ることができた。この日は、沖縄航路の船が4隻中2隻だったのは当然として、「フェリーあまみ」と「プリンセスわかさ」が入出港で入れ替わったくらいで、あとは出入りする船がほぼ同時に着岸していた。



鹿児島港に入港する「プリンセスわかさ」



「クイーンコーラルクロス」と「フェリーあけぼの」

(3) 薩摩半島東岸・喜入から指宿付近

ここは東京湾の横浜から観音崎にかけてとほぼ同じ地形で、午後は順光。離島航路の旅客船やRORO船、喜入に入出港する大型タンカー等々を次々と見ることができた。



「MSC ベリッシマ」と「フェリーとしま 2」(手前を通過)



RORO船「新種子島」(左)と「きよらむん」

(4) 大隅半島南端・佐多岬

九州最南端のこの岬の灯台の景色がシップウォッチングに素晴らしいと思ったのは、ちょっとした隙に「プリンセスわかさ」が灯台の向こうを通過して、その後に「フェリー屋久島 2」が通り過ぎた後だった。うまくいけば、種子島行きの船（屋久島行は西に離れて行ってしまふ）と灯台のいい写真を撮れるはずだし、おそらく、鹿児島から東航する船（例えば、16時に鹿児島を出港して高知に向かう MSC ベリッシマ等）の写真もいいのではないだろうか。一度、見てみたい。



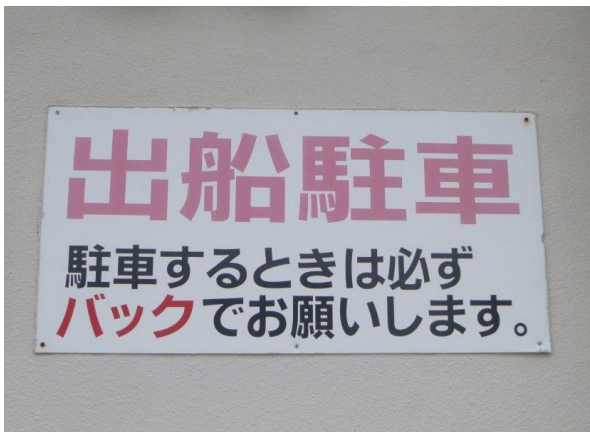
佐多岬灯台沖を離れていく「フェリー屋久島 2」



佐多岬近くの水中展望船「さたでい号」

5. 余談

(1) 街でのみつけもの



枕崎市役所にて さすが、港町！



指宿駅近くのお寺

(2) さんふらわあ

「さんふらわあ」の模型はたくさんあると思うが、今回、2つみつけた。



鹿児島県庁 1階裏ロビー
「さんふらわあ さつま」(旧)



坊津・輝津館
(初代)「さんふらわあ」



ついでに、こんなものも
鹿児島市電「さんふらわあ」